平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールIB (SeminarIB)【坂元ゼミ】		授業コード	E002580	
担当教員名	坂元 英毅		科目ナンバリン グコード	E21202	
配当学年	2	開講期	後期		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	以下の①②を満たしていること ① 公的部門の会計に関心があること ② ゼミ活動を優先し、課外活動にも積				
受講心得	ゼミには必ず出席してください。 ゼミ時間外での調査や研究、グループでの打ち合わせなど、相当な準備を求めます。 参画が不十分な場合は単位認定しません。				
教科書	適宜指示ないし資料配付します。				
参考文献及び指定 図書	適宜指示ないし資料配付します。				
関連科目	簿記原理、会社簿記、財務諸表論、原	価計算論 ほか会計	科目		

授業の目的	会計の知識や技能を身に付けながら、それを実社会で活用できる人間に成長するための基礎づくりをします。会計理論の習得や簿記検定等の資格取得は一つの立派な成果ではありますが、知識や技能は持っているだけでは不十分です。それらを自身が所属する会社や地域、あるいは社会全体に還元することによって初めて自分の力となり、また同時に世の中のためにもなります。ゼミではそのために必要な論理的思考力、企画力、プレゼンテーション能力等も身に付けていきます。
授業の概要	会計理論の演習、学生自身によるニュース発表を含むプレゼンテーション、ディスカッション等を 適宜組み合わせて進めていきます。ゼミの運営にあたってはゼミ生との積極的なコミュニケー ションを図り、常に対話とフィードバックを行いながら理解を深めていきます。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション	
後期の目的や運営方法について説明し、各位と個別面談(履修指導を含む)を行います。	後期の学修計画を立てる (1h)
第2週:講義・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り (2h・1h)
第3週:講義・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り (2h・1h)
第4週:講義・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り (2h・1h)
第5週:スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)
第 6 週 : スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第 7 週 : スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション	
近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)

第8週:スピーチ・	·プレゼンテーション・ディスカッション		
近年の会計理論を	かぐる動向と社会の関係について調査し	発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)	
第9週:スピーチ	プレゼンテーション・ディスカッション		
会計に関する職業・	キャリアについて調査し、考察を加えて	「議論します。	発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)
第10週:スピーチ	プレゼンテーション・ディスカッション		
会計に関する職業・キャリアについて調査し、考察を加えて議論します。			発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)
第11週:スピーチ	プレゼンテーション・ディスカッション		
会計に関する職業・	キャリアについて調査し、考察を加えて	が議論します。	発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)
第12週:スピーチ・	プレゼンテーション・ディスカッション		
会計に関する職業・キャリアについて調査し、考察を加えて議論します。次回講義までに、これまでの議論内容と、それを踏まえた自身のキャリアに対する考えをレポートにまとめます。			発表に向けた調査・資料準 備と振り返り(3h・1h)レ ポート作成(4h)
第13週:講義・ディ	スカッション		
近年の非営利会計をめぐる動向について講義し、議論します。		配付資料の確認とふり返り (2h・1h)	
第14週:講義・演習	雪・プレゼンテーション・ディスカッション		
近年の非営利会計をめぐる動向について講義し、議論します。		配付資料の確認とふり返り (2h·1h)	
第15週:講義•演習	雪・プレゼンテーション・ディスカッション		
近年の非営利会計をめぐる動向について講義し、議論します。			配付資料の確認とふり返り (2h·1h)
第16週:期末試験			
実施しません。			
	(1)授業の形式	「演習等形式」	
 授業の運営方法 	(2)複数担当の場合の方式	65 H 3 1/2 F 4 2	
	(3)アクティブ・ラーニング	 「アクティブ・ラーニング科目」	
地域志向科目	カテゴリー 皿:地域における課題角		
備考	757一7 血.鸡气0517 0环医疗	けんことがなると見てですり	דוש דוש
ک, سم			

〇単位を修得するが	〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	ゼミ全体への貢献を意識できていること。		
【知識・理解】	会計学の近年の動向および、その社会とのつながりを理解していること。		
【技能・表現・コミュニ ケーション】	自らの考えをわかりやすく説明し、他者を納得させることができること。		
【思考·判断·創 造】	会計と社会のつながりについて、創造的な考察ができること。		

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等	レポート・作品等	発表•·	その他
	(テスト)	(提出物)	(無形	成果)

【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。	10点	20点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点	20点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	10点
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。	10点	10点

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	作成するレジュメや資料が、わかりやすく簡潔にまとめられているか。またレポートでは自身の キャリアについて深く考察しているかを評価します。	
発表・その他 (無形成果)	ゼミ時間の内外を問わず積極的に活動しているか、応用的な会計理論を理解しているか、口頭 発表でわかりやすい説明ができているか、創造的な考察ができているか、を総合的に評価しま す。	